

議員質問への対応調書

整理番号 021209

令和2年12月定例会	会派名	公明党		担当部	企画推進部
	議員名	石田憲太郎		担当課	政策企画課 地方創生・デジタル化推進室
質問・答弁月日	12月16日				
質問形態	代表	関連	各個		追及
質問事項	デジタルデバイドへの対応について				
<p>【質問要旨】</p> <p>国はデジタル化の取り組みを加速させているところであるが、高齢者などに対して情報通信技術の使いこなしの格差、いわゆるデジタルデバイドが生じることが懸念される。</p> <p>高齢者対策については、国の実証事業として、「デジタル活用支援員推進事業」があり、11の自治体で取り組んでいる。鳥取市としてどのように取り組んでいくか。</p>					
<p>【答弁要旨】</p> <p>「デジタル活用支援員推進事業」は、現在、全国11箇所をモデルに実証実験が行われており、その結果については、本市としましても注視するものであります。</p> <p>これからのスマート自治体に向け、高齢者層のデジタルデバイド解消の取り組みは必要と考えますので、全国での実証結果や、全国展開の状況なども踏まえ、高齢者の支援体制や支援内容などについて、本市に適したやり方を今後検討していきたいと考えます。</p>					
【対応方針・進捗状況】			対応済		
<p>■対応方針</p> <p>デジタルデバイドの解消に向けて、地域と連携する「デジタル活用支援員推進事業」を活用するなどにより、取り組みを進める。</p> <p>内容や手法については、令和3年度中に対応方針を検討する。</p>					
<p>■進捗状況</p> <p>令和3年度に対応を検討し、昨年10月から国のデジタル活用支援推進事業と連携してスマートフォン教室を地区公民館で順次開催するとともに、令和4年4月に改訂した鳥取市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進方針（第7版）に必要な施策を位置付けて、デジタルデバイドの解消に向けた施策を総合的に推進していくこととしました。</p>					
更新日：令和4年7月15日					